

「いじめ」のない学校にするために・・・

○今年度の生徒会スローガン

「Colorful」

個性を生かし、一人一人が活躍できる学校

○いじめ根絶に向けた桃山中学校の取組

桃山中学校では、生徒会が主体となってハッピーライフ運動「いじめ根絶をめざした暴言暴力のない学校づくり」という活動を行っています。

今から約10年程前、当時、東日本大震災で被害にみまわれた人たちが、懸命に生きている中、桃山中は荒れており、生徒たち自身が、「私たちはこのままでいいのか」という思いでハッピーライフ運動をスタートさせました。

令和3年6月30日(水)の道徳の時間に「いじめ根絶に向けて」各学級で話し合いをしました。今年度の生徒会スローガンを桃山中生徒全員に意識させ、学校生活にどうつなげるかを考えました。

<いじめの根絶に向けての学級会で各学級から出た意見>

いじめの根絶に向けての学級会で各学級から出た意見

【いじめを未然防止するために気を付けることや有効な活動は?】

- 1-1
①相手軸に立ち、言葉遣いを考える
②ポスターを作る
③一人ひとりがいじめをしないことを心がける
④定期的にいじめを考える場を設ける
- 1-2
①悩みがある時は相談する
②朝の会、終わりの会で呼びかける
③一人ひとりが言葉遣いに気をつける
④人のものを勝手にさわらない
- 1-3
①いじめが起きない空気を作るために相手のことを考えて、言葉を言ったり行動をする
②学校生活や家での暴言をやめる
③友達への態度などを改めて相手に不快な思いをさせない
④友達を思う
- 2-1
①どの程度がいじめなのかを一人ひとりが認識する
②いじめはちょっとした言葉から発展するため、優しい口調で話す
③いじめを許さない雰囲気を作る
④相手の気持ちを考え、思いやる
- 2-2
①クラスマッチなどをして、みんなで遊べる機会を設ける
②班活動を授業の中に取り入れてもらい、その班の中で発表する順番を決めておき、毎回違う人が発表する
③4時間目が移動教室の時、進んで給食当番の荷物を一人一つは持ってあげる
④ポスターで呼びかけ(みんなでひとつの掲示物を作成する)一部の人に批判的な雰囲気になったら気づいた人が注意する。自治班を中心に見回りをする

- 2-3
①人の短所ばかり見て、苦手だと勝手に決めつけない
②自分が一番と考えず、言葉遣いや、行動などに気を配る
③一人ひとりの人権を尊重させ、いじめに対する意識を高める 「リスペクト・アザーズ」
④「嫌だ」と思ったら、ちゃんと相手に伝える
- 2-4
①自分中心でなく、相手の気持ちを考えて発言、行動するという意識を持つ
②ふざけて殴ったり、蹴ったりしない
③ぼう観者がぼう観者ではなくるように、積極的に行動する
④人に他の人と違う特徴があってもそれを美点としてみる
- 3-1
①嫌なことを言われたり、やられたりしたら溜め込まずに相談する
②いじめを止めるのではなく、まずいじめが起ころうな雰囲気無くす
③いじめの人の方に入らない(仲間にならない)
④一人で辛そうにしている人がいたら声をかける
- 3-2
①先生や友達に対する言葉遣いに気をつける
②自分にされて嫌なことはしない
③一ヶ月に一回はいじめについて考える
- 3-3
①自分がされて嫌なことはしない
②噂を簡単に広げない
③常に相手の気持ちを考える
④自分の気持ちを改めて、相手のことを考える雰囲気づくり
⑤一人の人がいたら声をかける(日頃から言葉遣いに気をつける)
⑥相手のことを考える



<3年生の学級会の様子>

桃山中学校では、定期的に生徒集会が行われています。今回は、学校全体で今の学校生活の現状とこれからの桃山中の在るべき姿について考えました。

生徒会員の一人として、「これからの桃山中学校をどんな学校にしたいか」を全校で考え、いじめをなくすための手立てとあたたかい人間関係をつくることの大切さを考えるよいきっかけとなったと思います。ハッピーライフ運動の在り方、ハッピーライフ運動を通して育む力や日常生活の中で、何を大切に過ごさなければならないかを考えさせることで、安心安全な学校生活をつくっていく気概を高めていってほしいと思います。



<生徒集会の様子>